



HD  
DIGITAL

DIGITAL COLORED COMICS

2

SHUEISHA

PART 2 十三組の十三人編

原作：西尾綾新 漫画：曉月あきら



黒神めだか!!

すぐに丸裸に  
してやるよ

第30箱 「いやあ困った困った」



まずは懸念点について  
やるとぜ 愚神

このホラタス・トランプの  
先についてるじり目メネリ

このちっけな記憶媒体に  
フラッシュ記憶にかけると  
僕のこれまでの研究結果が  
すべて詰まっている



わかりやすい  
だろ?

聞けばお前が  
ホラタス・トランプを  
演じに来た  
そうじゃねーか

ならば僕も  
こいつを方子で  
奪えば

お前の目的は  
ホラタス・トランプの  
盗取をねらってる  
わけだ



お前が聞かされて  
くれたのか?

状況が難解になり  
こちろとしては  
無が難を背負ってきて  
くれたようなものだ

愛国が認めんのは  
少し憐い

なみーに  
お前は平和主義者だって  
知れぬみだからよ

僕で悪い例でさねるよな  
もう僕を作った  
だけだよ















こいつ！  
俺の蹴りを避けようとも  
見ようともしねえんだぜ

さげんなよ！  
ごちとら お前の「めか三  
蹴り抜こうとしてんかせ  
わかつてんのか！











なっー！  
いつの間にか？

なんて  
なの？



なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？



なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？

なっー！  
いつの間にか？







掛け値なしの  
乱反射弾幕！

黒神  
リフレクト！！

すり抜けてみせろ  
高千穂三年生！



何だか分からず  
思っただけで走り回る  
黒神神！

「おれこれには  
早なるアタリウーッ  
なんかじゃ通じきれない！」







つまり  
こやつが動きの正体は  
ずばり反動神経!!



この男  
導いて動いていない

あれだけの量に耐えて  
全てを覚悟することなど  
それこそ本能的な  
本能二重化でもない限り  
不可能だ

それをこの男は  
常に機械的に  
常に自動的に  
かわしてみせた



反動神経って...  
あんなに動いてたら  
考えれば  
平気なはずとしか

状況に準わず動を  
導くこともとか  
あんなに本能的な  
反動神経のことか?

そう

動えも動くに  
動わす

動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす



その人の  
動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす

動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす

動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす

動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす  
動えも動くに  
動わす



対人兵器  
スーパーゼール  
超躍弾



定価一20万円也  
(一個あたり)。



第31箱 「増える——のではなく」





本気で  
勝負しようか！ 一分一秒も無駄に  
アツシマールにも  
負けるわけないさ！





あれが、  
魔物の  
本拠地と通って魔物まで  
とれに成功していいが  
わからないはずだ

いよいよ、  
分界の壁——ちとい  
フポイントの壁、

なり……

!?







なるほど  
びっくりしたぜ

だが



俺がするのは  
反応じやねえ

反射だよ

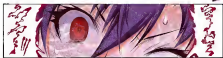
それが本体か  
わかるのは真前で  
構いやしぬーんだ!



同時に五感と神経が  
ダイレクトに刺激  
してるんだから

「風とか!」  
「エイントとか!」

「目が映像を  
どうとらえるか  
なんて—」



めだかちや...

来るなああ  
あああ!!



「**一対一の戦いだ**」

「**邪魔をするな！**」



「**一対一の戦いだ**」

「**邪魔をするな！**」



「**一対一の戦いだ**」

「**邪魔をするな！**」



「**一対一の戦いだ**」

「**邪魔をするな！**」



「**一対一の戦いだ**」

「**邪魔をするな!**」





「真一本か」

「それでサラスは計画の  
一環を演じたとなれば  
安い買い物だ」

「男  
強」

「今度は  
もう逃さないぞ」

「くいっ」

「とはいも  
先陣のようには  
勝たないん」

「僕の身は誰より  
貴族のこゝだ」

「どうせ  
これで私の秘密とやらは  
隠れたのであろうぞ」

「ああ」

「実に  
トリプルアサシだ」

「つまり、お前は  
僕の運なんだな」





お前

反射神経が  
ないんだ



反射神経がない  
状態で動作してる

お前には  
反射神経が  
ない

反射神経がない  
状態で動作してる



反射神経がない  
状態で動作してる



お前には  
反射神経が  
ない



俺が自動操縦なら  
お前は自由操縦って  
ことだ

反射神経がない  
状態で動作してる

俺の操縦性を  
あつちうは抜いてくれる  
わけだぞ









仕方あるまい  
もう少しだけ骨様の實際に  
付き合ってやる

骨様の反撃は  
最速なだけで！  
決して最速ではないことを  
覚えてやろう！



骨様！  
まさか  
あれをやる方が  
ぬだかちゃんに



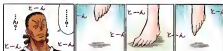
こんな強い魔法で  
正気かよ！  
阿久根実重！  
黒野蘭！  
もっと離れろぞ！



この位置だと  
骨が通えを食うぞ！

お前らもだ！  
早く  
この世に突い！  
そんなところにいるら  
スタスタになるぞ！

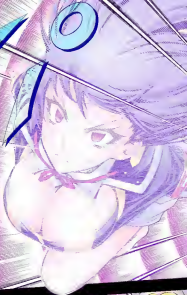




よ!!



黒神フアントム!!







● 考査に  
● 考査に

きい取るつもりだった  
データは  
触れたら壊れてしまったが

[illegible]

私の勝ちだ  
萬千穂三年生り



東京大学出版会

前編の人物にあら

めだがちゃんだ







何！

分身ヲ欲シテ

※初目撃。



第32話 「とても楽しい戦いだった」

自分のことを  
理解力者だと  
思っていた

予選は  
僕の  
勝利



自分が理解力者  
を期待するよう  
な  
その事実  
彼に心よ  
い  
思心地の悪い  
もたらした

自分には勝たず  
であることが  
他人にはがんばって  
できない

クラウドマイルと  
フットボールをして  
居る  
場中のことだった

この試合は  
初めて  
勝ったのは  
僕の勝利



がしかし

その理解力者  
を期待するよう  
な  
大それたことは  
やってもいなかっ

とは言え  
試合は  
勝ったのは  
僕の勝利  
でも  
よくいる予選だったし

自分の事  
を人に  
話  
が  
話



彼の中学校入学を祝した  
家族揃ってのドライブの途中

自分の乗る車が  
観光バスと大型トラックに  
サンドイッチされるという  
交通事故に彼は遭遇した

両腕と脚の骨を  
全身に宿ひながら

自分は  
傷れているのではなく  
外れているのだと気付く

自分が  
超能力者ではなく  
化物であることを  
知った

天門山

あぐまを田舎に一つだけ  
田ってくれたが、  
助かったぜ

直接 俺のボディが  
回われたわけじゃ  
ねーからな



2010-12-10 14:10:10

第32箱

「とても楽しい触れ合いだ」

1



「**この本は、お金の理を**」

「お前が、お前が……」

2000

11





待て！



あやや

じやなくて

待って

待っててください

だ！



戦う理由なら

ある！

黒神めだか！

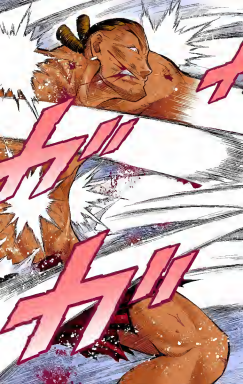
お前がそこに  
あるだろうが！！











うーうわあっ！

なっ

暇い合ひひひひひひっ!!

めだかさんは  
ともかく……

高千穂も逃げない？  
だとおれ

逃げないでやなくて  
逃げられないんです

あれは

いんま千鶴さんが  
赤いな足羽の紋を  
持っているといっても

それはインディゴキーンが  
万葉を放つてこそ  
おそろしき物だに

あんな威風凛々な  
神祕の王者に  
肉体がついていけない

足羽に寄り着くって  
ように見えるけど  
もう潰瘍はついてるよ

「十二人」  
みしくもない

煙をみっともなく  
結晶しているんだか

ウーッ！  
うるせーよ

てめーに足羽がこ  
ろがわる











「だから僕だとも  
思っただろう」



「僕が  
思っていた  
よりも  
早く  
死んでしまった  
ではないか」



「がっ……」

「反社会的な人だ」



「この  
反社会的な人だ  
が、  
僕が  
思っていた  
よりも  
早く  
死んでしまった  
ではないか」

「この  
反社会的な人だ  
が、  
僕が  
思っていた  
よりも  
早く  
死んでしまった  
ではないか」



「この  
反社会的な人だ  
が、  
僕が  
思っていた  
よりも  
早く  
死んでしまった  
ではないか」

「この  
反社会的な人だ  
が、  
僕が  
思っていた  
よりも  
早く  
死んでしまった  
ではないか」

「この  
反社会的な人だ  
が、  
僕が  
思っていた  
よりも  
早く  
死んでしまった  
ではないか」



「お前は  
普通に  
思っているんだな」

生徒会長  
黒神めだか!!





ヤダッ

……



いい顔だった

しかし今後は  
これでおしまいだ

明日の夜に後  
から追いかけて



……いや  
同級生先輩

これってやつは  
サイアツの服で  
サイアツの服装ならでせよ



……うう  
一瞬はとらふととらふと  
思ったが

……  
いつも通りの服装で  
いつも通りの顔で  
いつも通りの走り方で

とりあえずこれで  
ワンクアラタリアッ

た  
た



……千歳はさびやうな顔だ

めだかちゃんもまた  
実験の中で帰国して  
実験の中で帰国して



……  
……  
……

……  
……  
……

めだかちゃんを  
モルモットにする  
フラスコ計画は

こうしているきも  
着々と進行  
している



船長のところ

真面目には  
関係性に重んじています

友人が欲しい  
友人が欲しい  
友人が欲しい  
友人が欲しい  
友人が欲しい

友人が欲しい  
友人が欲しい  
友人が欲しい  
友人が欲しい  
友人が欲しい

人間から外れた  
生物であるがゆえに

どれだけの彼を  
受け入れたいのか  
人間関係を



だから彼らは  
関係性を失うより重んず

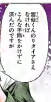
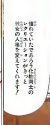
彼を  
大切に  
する

彼れを  
大切に  
する

他人のために  
生まれてきたと  
思う

例外的ではなく  
むしろ





なんと書いても彼は  
国際指名手配中の

大量殺人犯  
なのですから



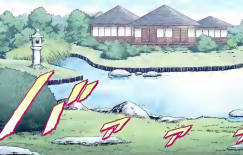






だい 第33箱

「だから殺す」

















戦う人間じゃないから

劉江華

「調子さんみたいだね。新しい生物を握手取るにはそれなりには頭を固らなきゃあ」

[illegible]

このように、日本では、海外に比べて、

4-11



彼は人殺しのテクに異常なほど長けた

いめいめではなすぞ  
指名手配中の  
殺人犯なんだから

12



「最後の戦人は  
眠くなかれ  
五臓の神」

「夢の影は  
眠しなくなるのか  
試してみたかったから」

「来、彼は世界を救う  
戦い続けるはるの人類を  
殺して来た」



「人を殺ると  
眠すことしか  
夢いられない」

「そんな事が  
普通の生活と  
眠れるはずもなく」

「今はアリスは計画の  
協力と引き換えに  
軍事面に回われている  
状態だ」

「生まれついでめ  
のミアルをさー」

「それが」

「眠れた戦士の  
赤い血のさ」



「人を  
倒す戦士に  
眠たいに  
夢がないでよ」

「眠つくな」

「眠は眠なり  
戦人軍じゃない」

「僕は  
理由ありきの  
戦人軍だ」



「僕は今戦中だ」

「だから眠す」

「普通の戦士を  
している暇はない  
だから眠す」

「眠すんばしない」

「だから眠す」

「僕は争いが  
嫌いだ」

「だから眠す」

「戦士さんをメンバーに  
引き入れるつもりはない  
だから眠す」



今日はとても  
いい天気だ

だから戦す

星ごはんが  
おいしいかった

だから戦す

昨日の夜は  
いい夢を見た

だから戦す

楽しみにしていた  
映画の封切りが近い

だから戦す

携帯電話の電池が  
切れそうだ

だから戦す

機に刃もない

だから戦す





駄目だよね  
めだかちゃん

借入人は  
おとなしく  
しとかなきゃ！

!?



おとなしくしなさい！

おとなしくしなさい！

黒神さんが一回で  
乱神モードに陥って、



突然変異した  
黒の五聖を  
一撃で退治したけ



黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

いや、黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

おれは黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ



黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

黒神さん

どうして黒神さんが  
ここに――



黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

妹のピンチを  
見学しに来ない兄は  
兄じゃない！



黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ

黒神さん、聞いて、  
黒神の口へ









……？  
待ってて下さい  
お元氣！  
ここはやはり  
私が行くべき

はいはい  
めだかちゃん

そんな美事な顔を  
出すなよ  
ほしたくない

べきよかおめとか  
お前いことを言わす

たまには黙って  
言えてあげても  
いいんじゃないかい？

「男の子が女の平めのために  
可哀らしく思っつけて  
るんだからさ！」



信じて  
やりなさい

十三年間  
絶えることなく

化物の隣に  
いた男だよ

やってみる  
限界野郎

俺は殺された  
くらにじや  
死なねえよ!

なすをみばって  
前に出るなんて  
きみはあつと  
怪しい手なんだね

とてもしんどく  
なれそうに気が  
するよ

だから  
殺す







ただし相手よりも  
圧倒的に深い傷を  
負いながら。



「おれは……  
おれは……」





ここにありたい  
僕に言われてからに  
しる

24



おまえの相手は  
俺なんだぜ

「俺は別に……ん畜」とい  
「通うたくなんがねー」

たにほしたてい、重たの  
あるだけだ













うおおおおおっ！  
なんだあの画！

「**超次元の斬撃を  
全部受け切って  
やる！**」



「**気持ち悪い！  
あの一年、刃物が  
怖くねえのか？**」



そっか、  
もうなら、このバドムは  
最強最強なのさ

俺の見たる通りだつてなんだ  
強けさないでくれよ  
豊崎くん！

やるとやないか  
一年一組くん

どうやら、バドムは  
きみの事は認さない  
みたいだね

じゃあ  
鈍器だ

.....  
//

と、バドムは  
豊崎くんを  
叩く

いいや  
豊崎くん

確かに  
あのバドムは  
最強の相手には  
勝つてくれませんが



そして  
それでいいんだ

彼は戦士じゃ  
なくて

人殺し  
なんだから



俺も、何気ない顔で見たら  
正義の味方止めるんだ



きみの命を  
殺す武器は



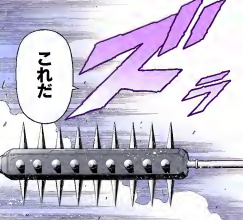
.....!!



「なに、なに、って  
お兄様」

「あれはもう  
神様でも何でも  
ないでしょう」





これだ



いいや  
ちよつと流石が「う」にはで  
れつきとした神像だよ

「う」が「う」ってあげた  
なまなまの神像だ

ものともなう  
「う」が「う」ってあげた  
なまなまの神像だ

なるべきは  
アリスは「う」って  
なまなまの神像だ



これなら  
押さへ止めることも  
できないよね

この長さなら  
僕のノロさも十分  
カバーできるだろうしな

44

2010年10月10日

100





じゃあ  
拳銃だ



「ムムム  
マダナム村

と

デザートイーグルの  
二丁拳銃

「身も蓋もないけど」  
逃脱した  
圧倒的な殺害方法

男を見せるのは  
ここからだぜ  
善吉くん！







だい 35 箱

「普通に格好いい」

三、

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840. 84

2007年12月26日

たぐいの人材は豊富で、  
必要に応じて

ああ、あなたを殺しなさい。

力弱く、かすかで  
傷く頼りない  
生き物だと

[illegible]

10

100

7546

10

THE

|   |   |   |
|---|---|---|
| 陳 | 陳 | 陳 |
| 陳 | 陳 | 陳 |
| 陳 | 陳 | 陳 |
| 陳 | 陳 | 陳 |

















だから私は  
善吉が好きなよ

私は  
人吉善吉が  
大好きだ







雲仙先輩との  
バトルで  
勉強済みだ!!



だが胸を  
撫で下ろせ

僕の暗器は  
ロケット砲で  
終わりだ



ひい

ロケット砲  
……………？

何考えてんだ  
あの人！

そんなもの

地下で

ぶっ放したら……!!





当然みんな  
「死んじやうだろうけど  
知ったこころか」

俺らの仲間  
ともども

消え  
失せ  
ろ!!



怖えじゃねーか  
馬鹿野郎!!



うまー、俺達の運命の  
瞬間を捉えて...!!

「うまッ!」  
これで俺達の運命は  
出回したよ!

おれがまた、おれが...!!

おれがまた、おれが...!!

おれがまた、おれが...!!





ににや  
ににや  
終わりだよ

お前は既に  
限界だ

あまのりく





普通の  
人間による

普通の  
勝利だ！











そんな論議事を  
やらさんみたい  
にしている

「誰に言わせれば  
みんな大きな  
間違いをしている」

「自分だけは  
間違えないとか  
自分の大切な人が  
死ぬなんて  
ありえないとか」

ブー ブー ブー

実際は  
命なんて

いつもたやすく  
散るのじゃ

第36箱

「肌荒れには気をつけましょう」





うわあああああ  
ああああああん

うわあああああ  
ああああああん







どうやら僕は  
責任を担うよりも  
いけないうまいだしね



責任です

でも、はい  
それは間違え  
僕に立ち向かわせた  
責任かな



それとも  
あるいは

フラスコ計画の  
現在を立案した  
責任かな？

!?



責任を担う  
するなよ  
黒神 真黒

お前こそが  
責任者も  
黒神なんだから

一歩前へ  
お前が理事長に  
会った時  
吹き込んでいなければ

あの子はきっと  
死なずに済んだ













殺すぞ



「あれは、お前さんか？」  
「ううん、お前さんか？」  
「お前さんか？」

……

「お前さんか？」  
「お前さんか？」  
「お前さんか？」



がんばれ!!



がんばる!!

















……あれ？

フワ

……で、毒舌を  
抱きとめるのは  
私の役目では……

わき

わき







それをずっと  
抱いてきたのさ

僕だけ  
は



「俺の  
敵は人間だ  
よ」  
本島だよ

人間を見ると  
胸が締めつけ  
られるような  
ものだ



だって  
人間は

とす、

殺したら  
死んじゃうじや  
ないか



人を死すに  
慣れてきた

人を死すに  
慣れてきたのは  
僕だけ  
は



「俺の  
敵は人間だ  
よ」  
本島だよ

人間を見ると  
胸が締めつけ  
られるような  
ものだ

「俺の  
敵は人間だ  
よ」  
本島だよ











ええ、お参りくんは  
もう大丈夫です

お参りがいれば  
魂はもう  
道を通り出すことは  
ないでしょう

しかし  
お参りと関係は  
別件ですやん

お参りくんのお参りになるものは  
お参りさんの御願だった  
はすために

人言お参りくん——  
なかなかどうして  
悔れませんかえノ



「お参り」でありながら  
真実を隠す

つまりそれは

彼もまた  
世間の虎をかぶった  
真実ということかも

お参りさん

お参りさん  
お参りさん

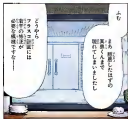
人言お参りくん  
お参りさん



あいつは  
お参りさん

普通に  
普通に

あたしの  
友達なの







.....  
動物園.....

か!?



私<sup>わたし</sup>どーぶつ  
きらい

行くなら  
一人で  
見に行けば?



~~~~~

白黒<sup>しろくろ</sup>の顔<sup>かお</sup>が  
おもしろい

買ったマイクを  
鳴<sup>な</sup>てるよう



~~~~~

なんや<sup>なんや</sup>あんな  
ぬいぐるみ<sup>ぬいぐるみ</sup>マク

生<sup>なま</sup>物<sup>もの</sup>みたいなの  
おもしろい



~~~~~

おもしろいとか  
面白<sup>おもしろ</sup>いとか

キヤラ<sup>キャラ</sup>付けが  
おもしろいってことで  
さっさと帰<sup>かえ</sup>る



この女……



「かわいい」が  
まったく通じねえ！

「俺の  
お前さん」



フツ



「おい！ さっさと  
仲直った女子が  
くだらねーこと  
喋り始めたぞ！」

「自分  
止めるが」



「とてまあ」

「お前さん  
です」



「……」

「とてまあ  
お前さん」

「お前さん  
ですか？」

……いゝ  
動物達は

めだかちゃんを  
まったく  
怖がっていません

めだかちゃんの言葉のひたう  
動物達に「おどろかしてはいない」

だからめだかちゃんに話しかけるのも  
わかるんやろー



ようばるよそへ  
逃げられてものか

……でも  
使われてものか

いずれにしても  
最悪です

……  
つまり、ここも  
ただの動物園じゃない  
ってことだよ

僕の世代には  
なかった設備だ

管理してるのは  
だから自分  
達の知らない  
二重三重のうさぎを――









「それは簡単だよ  
お前らもさ」  
「帰っててくれな〜か〜」

「いや〜いっそ  
この学園から  
出て行つてくれよ」

「連年の明次  
の悪戯なんだ」

「聞ける範囲を  
二人も通されて  
すげ〜迷惑  
してるんだよ」



「別タダとは  
言わね〜さ」

「愚痴のことは聞ゆるよ〜  
理事長には俺が話を  
つけてやるし」

「お前ら水員の  
制服手続きも  
俺が助つてやる〜  
どこの専門学校でも  
変態男しな」

「そこで好きになだけ  
生徒会を執行  
してるや」

「これ以上 学園に  
住めさせたく  
ぬ〜だろ〜」

「俺達も住め  
したくぬ〜し」

「お前の人さだ  
お悪い奴だをすに  
いこうぜ」



「お前と俺達のない  
勝手に言いつたお  
前さん」

「お前さん」

「だ〜じ悪いが  
周知させてもらうよ」

「俺達は箱庭学園の  
生徒会執行部  
なんだから！」





ふん

なっ…!?

!?



イッパ!

Q・ところで

知覚場所と一人居る  
場所、てはさうなんかな？



A・理事長の前で

僕とかき、左う  
矢張りもん。

中学時代

阿久根高貴は不良だった。

第38箱

「不良さも破壊さも」

と高貴

高貴は阿久根に付く金でも破壊対象としていりおけてはなかつた

高貴は阿久根にはあんなに悪くもあつたが、阿久根は高貴に付く金でも破壊対象としていりおけてはなかつた

阿久根は高貴に付く金でも破壊対象としていりおけてはなかつた

阿久根は高貴に付く金でも破壊対象としていりおけてはなかつた





きゃあああああっ

くっ…

黒神さんっ!!

保健室に…

いや

救急車を呼べっ!!

このように  
押えられた状態を  
原因に二重すけ症

黒神と黒神を助めて  
こう呼ばれていた



破壊臣。

この頃の彼は  
いつも静かしていて

ふんぞりて  
静かな行動を行えば  
まじけりスガノビ  
する

そんな面影を  
抱えていると  
思っていたし

が、人海を漂うなか  
で、この頃は  
ストリーミングの  
世界でしかなかった

しかし

///

///

人海を漂い、戦うとは  
思わなかったが、いざ  
戦う時は、戦う時は

戦う時は、戦う時は

静かして  
きやがった

でも、静かにながったのなら  
それこそ、それこそ



うわああっ！

何やってんだ！！

どうせ  
壊し直すだけだし



「壊れた」さんが  
目を覚めるだけであって

そのうち「個性」のあら  
現れたらな

だれも

これで  
終わりだ

だれど  
これでは

終わらなかった



「個性」も  
個性の力がは

「個性」を  
「個性」も  
「個性」も  
「個性」も





翌年日も



その時の日も  
彼女の目も



同い年が  
いくつもあろうと

彼女はまだで  
前にも会えな  
かった



中一一年生の頃の  
黒羽の影が  
全盛期と呼ばれたのは  
この頃の出来事に  
由来する

「黒羽は、何人様でも嫌わない  
金剛石のことと安平として

「安平にも彼女は  
なまよけていくのだった

そして  
それは四時

「黒羽は、  
彼女をも  
愛していった



やめんか  
馬鹿者!!

黒神

ローリングソバット!!

!?



自分のために動いた  
物やじみぬことは誰にも  
見届にされたのだと

弱い者いじめは許さんぞ!!

まのたくらみに  
していきがた  
めて来る

阿久根高貴！

貴様もかつては、  
いい男を好きに  
して、あんなに愛を注いだっただけ  
なのに、

比翼をき思惟に落ちた  
最期時代を過ごしたが、今は  
そのよさを押し出さなくては  
いけません。かみえらねん

安心しろ！

貴様が  
人間らしい心を  
取り戻すまで

貴様の破壊衝動に  
私がいくらでも  
付き合ってやる!!

慕





だから  
お前が

俺の何かに  
なつてくれ



はかのしん  
破壊臣は

改心した。

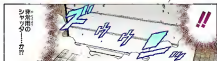
その破心こそが  
新・人生・鬼神めがけと  
主・神・神・神・神の  
神の大神となるのだが

それはまた  
別のおはなし——









俺は二年十三組  
「悪いお姫様」の  
名門天女

つうえく計画の  
本機銃を  
盗られてるってさ

私にしろ二年十三組  
「悪いお姫様」の  
古質いさみー

可愛い姫屋さんの  
可愛い大姫さだよーんっ！





お前をこうやって  
殺さすためには  
理由がある

きてきて  
高貴くん

だとすれば  
高千穂光輝の攻撃も  
お前が仕掛けたのは  
お前さん一人じゃないか

何が真実かは  
言っていないという  
役所だよな

フタスミ野郎の  
就任って...



俺が見るところ  
たぶんお前が  
もつとも

悪神めだからよって  
変えられた  
人間だからだ



変えろ悪神より  
変えろ人間より

俺はお前と関係があるわけ  
ないから

人間を殺滅するという  
フタスミ野郎の目的において  
お前は上のサンダルはいぬーと



んじやまー  
とくと  
ど買じる！



名瀬ちゃん  
古賀ちゃんの

わくわく  
実験動物  
ラアー  
ンド!!



ちやんぽん

お尻を、しり

んてさーんを

身体運動で置く

(つるこさーんをあげ

はきーゆーない！)



二の巻

ふたりで仲良く

元気院をのびました。





喜界島ればーと  
あぶの一まるこれくしょん②

むなかたげい  
『らすとかーべっと』

ぎゃくさつたいぶ

もんどうむようで  
ころしまくるよ。  
みかけたらすぐに  
にげよう！

じゅうぶんはなれて  
みりかえってみると  
なぜかかれは  
まんぞくげなんだ。



喜界島ればーと  
あぶの一まるこれくしょん③

こがいたみ  
『ベすとベいん』

せんとうたいぶ

かいぞうにんげんだから  
とてもつよいし、けがも  
すぐになおっちゃう！

でもあたまのなかみは  
かいぞうされてないから、  
はなしあえばかんたんに  
るんばできるよ。

ぼつりょくはんたい！





デジタルカラー版

めだかボックス 十三組の十三人編

2巻

西尾維新

©西尾維新 2010, 2012

駿月あきら

©駿月あきら 2010, 2012

初版発行 2010年

デジタル版発行 2012年

発行者 集英社

<http://www.shueisha.co.jp>

この作品は、著者直筆のカラー原稿に加え、著者の原稿をもとに集英社でデジタル彩色を行った特別編集版です。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。